

第79の山登頂記

2011.9.12

9月11日(日)、新南陽市・湯野温泉奥にある**観音岳(標高408M)**に登ってきました。山登りは2か月ぶりです。この山は、以前から日尾山と言う名称がありますが、江戸時代に山頂付近で金の観音様(体長4CM)が発見されたことにより、観音岳と呼ばれるようになった由。

登山当日、メンバー8人が、朝8時半に公民館に集合。リーダーの車で約1時間少して(10時前)、登山口のある楞巖寺(りょうごんじ)に到着。

横目で、近くの早生品種の稲刈りを見ながら、それぞれの準備を終え、お寺の本堂前で「安全祈願」の御参りを済ませ、境内の脇にある登山口で使用前の集合写真撮影。

この山には、登山道の脇に四国八十八か所の石仏が配されており、まず登山口の前が一番札所の靈山寺の仏様が鎮座。

登山口の脇には、(おそらく古いスキー用のストックでしょう)登山用の杖が網籠一杯、「どうぞご自由にお使い下さい」と置いてありました。

登山開始すると、いきなりコンクリートの土止めのある急登です。5~6分も行って、猪避けの柵に取り付けられた「イノシシ柵は必ず閉めてください」と書いた扉を過ぎる。ちょっと登った感じがあったけれども、この高さでもイノシシ柵もあり、近くで田圃の稲も刈っていました。

これを過ぎてまもなく、木の幹に「きのこ」が並んでくっ付いていました。ここからです、「きのこ」頻発は。きのこ参考写真の3枚は白いものですが、他に茶色、黄色、またその形も典型的な傘の形のほか、崩れた団子状のもの、ティーアップしたゴルフボールの様なもの、テニスボール大のもの、最後の参考写真の様に何が気に食わないのか、ひねくれまがったもの。いろいろ楽しませてくれました。



「きのこ」もありますが、道脇のお寺も続きます。登山開始から40分ほど登ると、お寺が、阿波の国から土佐の国に変る標識がありました。

11時過ぎにお休み広場に到着。もちろん休憩です。何番札所か忘れましたが石仏もありました。

さらに登り、11時半過ぎ、延命水の表示のある湧き水場に到着。「1口で3年、2口で10年延命」との表示あり。竹の樋と水を受ける甕がありましたが、竹の樋の水の入り口付近が落ち葉かなんか詰ってて水がスムーズに流れていない。メンバーの一人Fさんが、にわか工務店員に変身し障害物を除去。水の流れは良くなったがまだ何となく濁っている気がしたので、皆、時間を稼いで下山時に頂くことに。

登りが結構きつく暑いので、時折吹き抜けるひんやりした風が特に気持ち良い。少し行くと、T字型に重なり隙間の出来た「安産岩」に到着。隙間を潜って、この秋出産予定の下の娘の安産を祈願。

もう少し行き、12時過ぎ黄金物発見箇所の標識の立つ頂上到着。

日向は暑いので、日陰を選んでランチ会場をセット（敷物を敷いて座った訳です）。私はビールの肴にもと思って作ってきた燻製を提供。材料はかまぼこ、チーズ、下味処理した鳥肉です。燻製度合いを調整して作り、皆さんに好評でした。燻製もやや変わったメニューでしょうが、デザートに頂いた「ポポ」なる果物は、私にとっては、初耳、初トライ品でした。形は、やや大きめのあけび状、皮は緑色～茶色、肝心の中身は、黄色～薄いオレンジ色の少しねっとりした実で、スプーンですくって頂きました（※）。あまーい。帰ってから調べたら、「ポーポー」という名前が代表的名称で、北米原産、明治時代に日本に持ち込まれた果物。大き目の柿の種状の黒い種が入っていて、植えて実がなるまでに10年以上も掛かるとか。



食後、頂上踏破してすぐに見た眺望のおさらいをすると、天候も良かったので、瀬戸内海の、人間魚雷・回天基地のあった大津島もはっきり確認できました。周りには沢山の山々が連なり、説明板もありましたが、登った山が殆どなく、山の名をただただ確認するに終わりました。

材料は、恐らく頂上付近で伐採された松でしょう。頂上には、その木を組んで展望台が作られていました（※）。枝の曲がりも器用に組み合わせてありました。



下りは、途中迄は登りと同じコース。例の「延命水」では、私は2口（杯）頂きましたので、これで寿命10年延長（のはず）。3口以上についての記載は無いので、「適当に解釈せよ」とのことでしょうか。

途中、八十八か所のルートを変えたりして、土佐から伊予、伊予から讃岐と全てを巡回して下って行ったのです。こちらのコースでも「きのこ」は頻繁にありました。

15時頃、登山口近くの駐車場に到着。登山口のある楞巖寺に上記の黄金仏が安置されているとかで、拝観出来るか尋ねたところ、「毎月17日が、ご開帳日なのでその日にどうぞ。」とのことで残念。

途中のドライブインで、久しぶりにかき氷（200円。メロン味）を食べて、17時頃公民館着。

ちょっとキツイ登りのあるコースでしたが、時折吹く涼風に助けられ、また沢山の「きのこ」を楽しみ、道脇の仏様に護られながらの登山でした。歩数9877歩。

山口／古賀